

# 令和 7 年度 学校関係者評価報告書

## 1. 実施の概要

- ・ 評価対象期間：令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
- ・ 評価実施日：令和 8 年 3 月 19 日(評価会議開催日)
- ・ 学校関係者評価委員の構成：
  - ・企業関係者(富士産業株式会社 神戸事業部次長 上野正道氏)
  - ・卒業生(卒業生 特別養護老人ホームしらさぎの里 管理栄養士 荒内喬司氏)
  - ・企業関係者(特別養護老人ホームいやさか苑 施設長 田上優佳氏)

## 2. 自己点検・評価結果に対する評価

学校側が行った「自己点検・評価」の結果を受け、委員が「妥当・適切」と判断したか、または「さらなる努力が必要」と判断したかを記載

| 評価項目      | 学校の自己評価 | 学校関係者評価<br>(委員の判定) | 委員の主な意見・指摘事項                                                                 |
|-----------|---------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ① 教育内容・成果 | 2       | 適切                 | 実習を多く取り入れ、業界のニーズに応えた授業が行われている。また「栄養士」以外にも多くの食に関わる資格が取得できる環境が整っている。           |
| ② 学生支援・募集 | 2       | 概ね適当               | 中途退学者へのフォロー体制は整っているが、さらなる早期発見が必要。募集は少子化と高校生のニーズによる影響も有り減少気味なのが気になる。          |
| ③ 施設・設備   | 2       | 適切                 | 昨年度導入された最新 PC 機器により、実践的な学びが強化された。また空調設備の改修や校舎内全蛍光灯の LED 化計画等積極的に設備更新が行われている。 |
| ④ 学校運営・財務 | 3       | 適切                 | 財務状況の公開が適切に行われ、かつ無借金経営が続いている。                                                |

※自己評価点基準：

- 3：基準を満たしており、特筆すべき取り組みを行っている
- 2：概ね基準を満たしている
- 1：基準を満たしておらず改善が必要

※学校関係者判定基準：【・適切、・概ね適当、・改善を要する】

### 3. 総評および提言

外部委員による全体的なまとめを記載します。

「本校は業界とのパイプが非常に太く、就職実績において高い成果を上げている。一方で、以前から問題になっているメンタル面の弱い者やコミュニケーション能力不足の学生に対しての一層の支援を期待したい。」

### 4. 評価結果を受けた改善策(学校側の回答)

指摘された課題に対して、次年度どう動くかを宣言します。

- 課題：メンタル面対応やコミュニケーション能力不足対応
  - 改善策：令和8年度より、学園で専任の「スクールカウンセラー」を雇用予定。
- 課題：学生のコミュニケーション能力のバラつき
  - 改善策：グループワーク中心の演習科目を増やし、プレゼンテーション機会を確保する。